



米子市長定例記者会見資料	
令和3年10月13日	
担当課 (担当者)	文化振興課 原・安達
電話 (0859) 23-5435	

報道機関 各位

「淀江傘 200 年記念事業」について

1 事業の主旨

文政4年(1821)に倉吉屋周蔵が淀江に傘屋を開いて以来、200年を迎える年に、受け継がれた淀江傘の伝統美とその技術の企画展示や製作実演を行い、伝統的な和の文化の良さを広く知っていただくとともに、その技術の保存、継承に向けての意識の醸成と後継者育成につなげる。

2 事業内容

(1) 主要事業

淀江傘200年記念企画展「開いて花 雨音楽し 淀江傘」

会期：令和3年10月20日(水)～25日(月) 午前10時～午後7時30分

場所：米子しんまち天満屋1階しんまち広場

主催：米子市

共催：淀江傘伝承の会

内容○淀江傘の展示 200本(蛇の目傘、番傘、踊り傘等)

○淀江傘製作映像、踊り傘の風景等の写真を展示

○記念式典 10月23日(土) 午前11時～

- ・あいさつ(米子市長、淀江傘伝承の会会長)
- ・傘踊り公演(米子白鳳高等学校郷土芸能部)
- ・和傘製作実演(淀江傘伝承の会)

※淀江傘200本の提供元：淀江傘伝承の会、和傘工房 初音、淀江保育園、淀江中学校
米子白鳳高等学校、大山観光局

(2) 関連事業

- ・淀江傘伝承の会企画展 10月30(土)～11月13日(土) 於：和傘伝承館
- ・山陰歴史館企画展 翌2月19日(土)～3月20日(日) 於：山陰歴史館
- ・記念講演会 翌3月5日(土) 於：米子市立図書館 講師(岐阜和傘職人)

3 その他

○淀江傘の産業化促進に向けた実証実験について

現在、傘の部材である「ロクロ」は、岐阜県の一事業者のみが製造しており、淀江傘伝承の会もそこに発注している。ロクロの材料は「エゴノキ」が使われており、山林の雑木の一つで入手が困難であったが、米子城跡の伐採予定樹木がエゴノキであったという事実が判明したことから、地元事業者と協働のうえ、淀江傘の産業化に向けた機運の醸成のため、「ロクロ」製造を試験的に開始したところ。(製作協力：足芝建築㈱、淀江木材工業㈱)

試作品は12月上旬には完成見込みであるが、竹骨とつなぎ、骨組み見本を翌2月の「山陰歴史館企画展」に展示予定。(別途リリース予定)。